

2020年8月20日

各 位

会社名 いちご株式会社  
代表者 代表執行役会長 スコット キャロン  
(コード番号 2337 東証第一部)  
問合せ先 上席執行役財務本部長 坂松 孝紀  
(電話番号 03-3502-4818)  
[www.ichigo.gr.jp](http://www.ichigo.gr.jp)

## いちご初の風力発電所「いちご米沢板谷 ECO 発電所」における 「グリーンローン」による借入のお知らせ

当社は、サステナブルインフラ企業として持続可能な社会形成への貢献を標榜し、地域および地球に優しいクリーンエネルギー事業を積極的に推進しております。

今般、100%連結子会社であるいちご ECO エナジー株式会社（以下、「いちご ECO エナジー」という。）を通じ、風力発電所の建設資金を株式会社新生銀行（以下、「新生銀行」という。）の「新生グリーンローン」第1号案件として、本日付で借入限度額30億円のうち22億円を借り入れいたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

借入の対象となる発電所は、福島県と山形県の県境付近に建設中のいちご初の風力発電所「いちご米沢板谷 ECO 発電所」（7.39MW）であり、2020年12月の発電開始を予定しております。本発電所は、4基の風車を設置し、一般家庭約9,130世帯の年間消費電力に相当する電力を発電いたします。地上78mのタワー上部には発電機や増速機を備えた「ナセル」が設置され、風車の羽にあたる43mの長さの「ブレード」を含めた全高は、約120mとなります。

### 記

#### 1. 本グリーンローンにおける評価概要

本グリーンローンは、新生銀行による「サステナブルインパクト」の取り組みの一つであり、明確な環境改善効果が認められる事業に資金用途を限定したローンとなります。

いちご米沢板谷 ECO 発電所の開発は、SDGsの「目標7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに」、「目標9 産業と技術革新の基盤をつくろう」に貢献するものと評価されました。また、当社は、サステナブルインフラ企業として持続可能な社会を実現することを目指し、「不動産」と「クリーンエネルギー」の事業領域でのさらなる進展を図っており、組織目標と本風力発電所開発が整合していること、地域コミュニティの共生を重視していること、法令・条例等の遵守に留まらず、自主的な環境影響評価を実施し、環境や社会に配慮した開発を行っていることをその他評価ポイントとして評価していただいております。

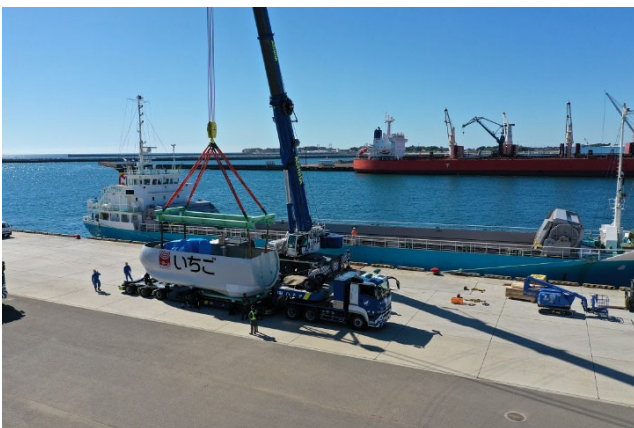
#### 2. 本グリーンローンの概要

- |         |                      |
|---------|----------------------|
| ① 資金用途  | いちご米沢板谷 ECO 発電所の建設資金 |
| ② 借入限度額 | 3,000 百万円            |
| ③ 借入先   | 株式会社新生銀行             |
| ④ 返済期日  | 2022年2月28日           |

### 3. 発電所の概要

発電所名	いちご米沢板谷 ECO 発電所
発電開始予定	2020年12月
所在地	山形県米沢市
風速データ	年平均約8m/s ※風力発電所の適地は6m/s以上
発電出力	7.39MW

#### ■ ナセル・ブレードの水揚げ、建設現場





以上

[参考]

当社ホームページより、いちごが運営する発電所の発電状況を随時ご確認いただけます。  
是非ご参照下さい。 [www.ichigo.gr.jp/business/sustainable/eco/plant](http://www.ichigo.gr.jp/business/sustainable/eco/plant)